



**13 二十六聖人殉教記念碑**  
歴史の教訓をいまに伝える地

16世紀後半、我が国ではキリスト教の信仰が急速に広まり、当時、京都にも多くの信者がいましたが、豊臣秀吉の迫害により、慶長元(1596)年、キリシタン信徒26名が長崎で処刑されました。処刑された信徒の殉教を記念するために、布教活動の拠点であったとされるこの地に石碑が建立されました。

- バス [20] [203] [207] ほか「四條堀川」徒歩4分
- 阪急「大宮」駅 徒歩5分

**14 六角堂(頂法寺)**  
社会的弱者の人権にゆかりのある地

聖徳太子により創建されたと伝えられています。平安時代から庶民の信仰を集め、観音に救済を求める信仰の場として重要な役割を担っていました。被差別民の救済の場であり、また、前陣の際に収容舎が建てられるなど、貧民救済の場でもありました。

- 地下鉄「烏丸御池」駅 徒歩3分
- 阪急「烏丸」駅 徒歩5分

**16 阿国の銅像**  
被差別民衆の活躍にゆかりのある地

当時の底辺層の身分であった出雲の阿国が、慶長8(1603)年に四條河原で演じていた「櫓き」おどりは、大きな人気を呼び、たちまち諸国に広がり、歌舞伎劇として現在に伝えられています。この銅像は、歌舞伎の創始者・発祥地を示すものです。

- 京阪「祇園四條」駅 徒歩2分
- 阪急「河原町」駅 徒歩2分
- 市バス [20] [203] [207] ほか「四條京阪前」バス停

**20 桜田儀兵衛顕彰碑**  
被差別民衆の活躍にゆかりのある地

現在の下京区にあった柳原町の町長に明治22(1889)年に就任した桜田儀兵衛は、不況により皮革業が打撃を受け困窮した町民のために、私財を投げ打って貧民を救済するとともに、伝染病への感染を防ぐために地域の衛生維持に努めました。

- JR地下鉄「京町」駅 徒歩8分
- 京阪「七条」駅 徒歩10分
- 市バス [4] [17] [205] ほか「堀小路高倉」徒歩4分(柳原銀行記念資料館前)

**17 島原大門**  
社会的弱者の人権にゆかりのある地

我が国最古の公許遊郭であった島原は、江戸時代初期の設置当時は「西新屋敷」と呼ばれていましたが、その後九州の島原になぞらえて「島原」と称されるようになりました。この大門は東の出入口に当たり、島原遊郭の象徴のようなものでした。現在の大門は幕末の慶応3(1867)年に建て替えられたもので、京都市登録有形文化財に登録されています。

- JR丹波口「島原」駅 徒歩7分
- 市バス [206] [207] ほか「島原口」徒歩6分

**21 在日大韓基督教教会京都南部教会**  
歴史の教訓をいまに伝える地

現在では、多くの在日韓朝・朝鮮人の信仰の場であると同時に、憩いの場、生活文化のより所となっており、戦時下においては弾圧の対象となり、解散に追い込まれました。戦後、再び伝道所が設置されましたが、礼拝堂が建設されたのは解散から35年後の昭和51(1976)年でした。現在の教会は平成7(1995)年に新築されたものです。

- 市バス [202] [207] [208] ほか「九条河原町」徒歩6分

**22 伏見稲荷大社**  
国際交流にゆかりのある地

全国の稲荷神社の総本宮であり、千本鳥居で有名です。創建したのは、朝鮮半島から渡来した薬氏であると伝えられています。薬氏は、伏見の地に早くから居住し、大きな勢力を有していたことは、日本書紀にも記載されています。伏見稲荷大社のほかに、多くの寺社が薬氏の手により建立されたとされています。

- JR「稲荷」駅 徒歩5分
- 京阪「伏見稲荷」駅 徒歩5分
- 市バス [南5] 「稲荷大社前」徒歩7分

**18 耳塚**  
歴史の教訓をいまに伝える地

16世紀末の豊臣秀吉の命令による朝鮮侵略では、首の代わりに耳や鼻を差し出して軍功の証としていました。日本に送られた耳や鼻を供養するために埋葬されたのが耳塚です。当初は「鼻塚」と呼ばれていましたが、江戸時代になって「耳塚」と呼ばれるようになりました。

- 市バス [206] [208] ほか「博物館三十三間堂前」徒歩5分
- 京阪「七条」駅 徒歩6分

**15 當道職屋敷跡**  
社会的弱者の人権にゆかりのある地

南北朝時代の平家琵琶の演奏家であった明石覚一(棟校)は、盲人の自治的互助組織である當道座を開きました。明石の邸宅を「職屋敷」と呼び、盲人の技芸試験などが行われました。

- 地下鉄「四條」駅 徒歩3分

**19 柳原銀行記念資料館**  
人権まじりの地

明治32(1899)年に設立された「柳原銀行」は、被差別部落の住民によって設立された日本で唯一の銀行でした。その柳原銀行の建物を移築、復元し、平成9(1997)年に人権資料展示施設として開設しました。京都市登録有形文化財にも登録されている貴重な洋風木造建築物です。入館無料。TEL・FAX 075-371-0295

- JR地下鉄「京町」駅 徒歩8分
- 京阪「七条」駅 徒歩10分
- 市バス [4] [17] [205] ほか「堀小路高倉」徒歩4分

**23 唐人雁木の碑**  
国際交流にゆかりのある地

「唐人」とは、江戸時代、將軍の代わりや慶事に際して、朝鮮国王から祝賀のために派遣された朝鮮通信使のことを言います。唐人は、対馬から瀬戸内海を経て淀川を遡り、淀川に上陸後、陸路で江戸に向かいました。「雁木」とは「棧橋」のことです。現在、着岸地(唐人雁木)跡を示す石碑が建立されています。

- 京阪「淀」駅 徒歩5分

